

中国・四国支部
支部長

藤原一致

(71E)



本大学同窓会の40周年嬉しく思います。僕も中国・四国支部の支部長を引き受けさせて頂き10年以上たちます。毎年支部会を開きますが、出席も少なく試行錯誤しており、良い知恵があればいつも頭を悩ましています。でも嬉しかったことは、転勤で岡山に来た方が大学の同窓会の支部があると言うので訪ねて来られた事です。毎年開催致しますので、一人でも多くの参加をお願い申し上げます。今後、少子化と言う事で大学に一人でも入学してもらいたいと説明して歩きたいところですが、地方では知名度が低いので少しコマースシャルをお願いしたいです。

さて大学の思い出ですが、友愛寮に30人いて部活は大幸まで行っていました。そして瀬戸で遊んで最終のバスに乗れなくて歩いて帰り、エライ思いをした事もありました。今は白鳥学舎になって良くなったですね。支部役員若返りも考えながら、これからも支部活動を活発にやりたいので、本部の方の物心両面でのご指導とご鞭撻をよろしく願い申し上げます。

三重支部 支部長

中野隆自

(71E)



歳月とは早いもので今年度、本大学同窓会40周年が無事迎えられたこと、誠に嬉しく祝い申し上げます。理事長、学長始め、大学の先生方、職員の方々に並びに関係者の方々には、ひとかたならぬご尽力に改めて感謝いたしますと共に、45年の歴史の重みとご苦勞、そしてこれからの大学の展望を思いますと感慨深いものがあります。

今日、私共卒業生が平穩にどうかこうにか世間の荒波にもまれながらも、良き社会人として、或いは社会での様々な職業の責任有る一端を担って来させて頂き、また各分野での色々な方からご鞭撻を頂いておることは、何といっても人生のもっとも多感な時代に名古屋学院大学の建学の精神の下で学んだことが、何かしら知らず知らずのうちに糧として、自分達の人生、社会生活にポジティブに反映されて、現在の私、個人が在るのではないかと思う今日この頃でございます。在学の皆様には、良識と品格の涵養、社会と向き合った学徳を兼ね備えた人物を目指して、キリスト教主義を標榜した名古屋で唯一の大学で獲得されんことを願っております。

私共、同窓会三重支部は、三重県出身の卒業生の皆さんが青春の一コマを、建学の精神《敬神愛人》、明晰かつリベラルな校風の下で学んだ、という連帯感と親しみのなかで母校の発展を願い、卒業生同志の親睦を一層図って行き、名古屋学院大学の日本社会での益々の「良き知名度」「アイデンティティ」が高揚して行くことを願っております。

関東支部 支部長

榊原金市

(70E)



私は70Eで、経済学部経済学科、クラブ活動は陸上部でした。思い出しますと、勉強面では「宗教学」に興味を持ち、毎時間しっかりノートを取りました。理由は、日本と異なる異文化のキリスト教を新鮮に感じたからです。これが、私が遠藤周作の作品に没頭するきっかけにもなりました。陸上部では、大したランナーではありませんでしたが、3年の時、全日本インカレの予選の100mに出場できた事が、社会に出た後の自信と大きなセールスポイントになりました。何事も「一生懸命に勝るものはない」と今更ながら思います。

さて、関東支部の活動は年1回の総会で、参加者は毎年14～15名です。しかし、皆さん博学多趣味、且つ話し上手な方ばかりで、アルコールも手伝って、「近況報告」が盛り上がり毎回時間延長をしています。今年度の秋の総会は、現在幹事の皆さんと相談中です。近々ご案内できると思っていますので、是非一度ご参加ください。

支部長紹介

名古屋学院大学同窓会支部の中から、3支部の支部長をご紹介します。

同窓会運営の報告

同窓会の事業は年に2回の代議員会と9～10回の理事会で十分に協議・審議され、運営されています。各委員会が設けられ、その中から事業計画案及び予算案を検討した上で会議に提出され、議論を重ねて遂行しています。

2007年度事業報告

▼総務委員会

- ◎卒業記念品の贈呈
- ◎優秀クラブ表彰(23クラブ)

▼広報委員会

- ◎会報の発行
- ◎大学の各部署への原稿依頼 活躍する同窓生やクラブのOB会の取材等を繰り返し返した上で、3万部製作し、9月末に発送。

▼事業委員会

- ◎第16回ホームカミングデー開催
- ◎2007年11月4日(日) 初の名古屋キャンパス開催
- ◎白鳥学舎1Fレストラウンにて同窓生・教職員・学生との懇親会を開催した。
- ◎参加総数325名「卒業生196名、家族57名、教職員37名、在校生35名」

▼情報委員会

- ◎同窓会ホームページの更新
- ◎年賀状の作成

▼支部委員会

- ◎支部活動の支援
- ◎支部活動
 - 関東支部 支部会開催
 - 三重支部 親睦会、支部役員会開催
 - 関西支部
 - 中国・四国支部

▼大学協力委員会

- ◎2007年7月30日(水) 大学との懇親会開催
- ◎同窓会会長・理事長・学長による、母校の将来への方向性について懇談しました。
- ◎以上の活動を中心としています。各会議の議事録、決算書、規約等を確認されたい方は、ご面倒ですが事務局にお問い合わせください。
- ◎なお、理事は代議員の互選により選出し、総会の了承を求められた者であり、代議員は各卒業年次の会員から改選前の理事会で選出された者であります。

▼同窓会終身会員について

同窓会では、学生・卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの入会金・会費で運営されております。最近では大勢の卒業生の皆様に同窓会運営にご協力いただけるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。

さて、1996年度より、正会員のうち、年会費5年分(1万円)以上を納入していただいた方及び同年度3月以降卒業の方を終身会員とし、その方からは今後年会費の請求をしないこととなっております。なお、1991年3月時点で敬愛同窓会の終身会員であった方は、当大学同窓会の終身会員とみなすこと致しましたので宜しくお願い致します。

▼年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもちたて、同窓会ネットワークを充実させるためには、是非しっかりと財源が必要です。なにとぞご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

会費は、同封の振込用紙をご利用の上、□以上のお振込をお願い致します。

- 年会費 □ 2,000円
- 終身会員費 1万円

既に終身会員の方は不要です。